

令和5年度第2回 大阪市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
地域福祉基本計画策定・推進部会（会議要旨）

- 1 開催日時 令和5年8月18日（金）午前10時～午前12時00分
- 2 開催場所 大阪市役所屋上階 第P1会議室
- 3 出席委員 6名
（来庁）佐藤委員、種継委員、田村委員、野村委員、藤井部会長
（Web）所委員
※五十音順
※Web出席委員について、映像と音声により委員本人の確認を行った。

4 議事

- (1) 第3期「大阪市地域福祉基本計画」の策定について

【議事1】

- ・事務局から資料に沿って説明

（主な意見）

- ・「地域福祉にかかる法・制度の動向」などのイメージ図について、大阪市の取り組みを落とし込んだ図になればより身近に感じられるのではないか。
- ・資料1の45ページ「多様な主体の協働（マルチパートナーシップ）の視点」の表について、「住民」となっているが、組織との連携のイメージも持てるよう「住民・住民組織」など表現を見直してはどうか。
- ・「福祉コミュニティ形成の視点」について、住民の当事者性を少し意識した表現が入っていくと、より地域福祉としての理念になりよいと考える。
- ・66ページ「多様な主体の参画と協働」について、一般の企業がボランティアではなく、本業として、地域の共生社会という視点から、福祉に関心を持っていただくことをどこかに記載できないか。
- ・71ページ「災害に備えた地域におけるつながりづくり」について、新型コロナウイルス感染症は、この先深刻になるより段々と薄れていく方向にあることから、今般の新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症による脅威などに備えた地域づくりが必要だというような表現にしてはどうか。
- ・91、92ページ「福祉専門職の育成・確保」について、チームづくりや行政職員の専門性の

向上など、抽象的な表現が多く具体的な取組が読み取れないと感じる。

- 多機関協働のための土壌づくりが重要であり、庁内連携についても包括的支援体制の中で充実させていく必要があることから、庁内連携の強化は必ず入れていただきたい。